

令和3年度のKPIの評価

令和3年度のKPIの実績値について、基準値や目標値と比較し、評価を行った。(赤字は第1回からの修正箇所)

※印の付いている3項目(製造品出荷額等(目標①)、製造業の事業所数(施策1-1-①)、年間商品販売額(施策1-1-③))は、実績値の公表年度が他のKPIより1年遅れるため、令和2年度の実績値を掲載する。なお、令和2年度は目標値を設定していないため、目標値の欄は空欄となる。

目標/施策		KPI	基準値	R3 上:目標値 下:実績値	R7 目標値	令和2年度・令和3年度の評価
①目標:町ならではの仕事を育て、安心して働けるようにする		製造品出荷額等※ (億円)	10,610 (H30)	— 8,912(R2)	11,000	△ ・基準値と比べて1,698億円減少している。なお、令和3年度の実績値については公表時期未定。
施策	1-1-① 製造業の育成・支援	製造業の事業所数※ (事業所)	81 (H30)	— 81(R2)	85	◎ ・R3目標値を既に達成している。なお、令和3年度の実績値については公表時期未定。
	1-1-② 農業の振興と高度化	新規就農者数 (人)	1 (R1)	1 1	5	◎ ・新規就農者数は、令和元年度と同様に1人増加しており、令和7年度の目標値に向け順調に推移している。
	1-1-③ 商業振興の支援	年間商品販売額※ (億円)	507 (H28)	— —(R2)	550	— ・「年間商品販売額」は5年毎に実施する経済センサス活動調査の数値を使用しているが、結果が令和5年3月頃公表予定のため、現時点で実績値を評価できない。
②目標:多様な人の流れを育て、町の魅力を高める		定住人口 (人)	42,292 (R1)	42,980 42,650	44,700	○ ・定住人口は、令和元年度から358人増加しており、令和3年度の目標値は達成していないものの、令和7年度の目標値に向け概ね順調に推移している。
施策	2-1-① 観光の育成・支援及び関係人口の創出・拡大	凧揚げイベントの参加者数 (人)	25,000 (R1)	25,000 102	27,000	△ ・参加者数は、令和元年度と比べ大幅に減少している。 ※令和3年度は、三河湾こうたの自由凧揚げとしてラグーナビーチで開催(事前申込制)
		道の駅来場者数 (産直・飲食来場者数)(人)	436,326 (R1)	458,000 440,283	498,000	○ ・来場者数は、令和元年度から約22,000人増加しており、令和3年度の目標値は達成していないものの、令和7年度の目標値に向け概ね順調に推移している。

【評価】◎:R3目標値を達成している、○:R7目標値に向けて概ね順調に推移している、△:基準値を下回る、—:実績値がなく評価できない

目標／施策		KPI	基準値	R3 上：目標値 下：実績値	R7 目標値	令和3年度の評価	
施策	2-1-① 観光の育成・支援及び 関係人口の創出・拡大	憩いの農園来場者数 (人)	726,614 (R1)	744,400 701,132	780,000	△	・来場者数は、基準値から約 25,000 人減少した。
	2-1-② 交通ネットワークの充実	幸田駅、三ヶ根駅、相見駅の乗車客数 (人/日)	6,858 (R1)	7,140 5,579	7,700	△	・利用者数は、基準値から約 1,300 人減少している。
		町が実施する公共交通の利用者数 (人)	33,698 (R1)	34,460 27,140	36,000	△	・利用者数は、基準値から約 6,600 人減少している。
2-1-③ 定住環境の向上	アンケート「町に住み続けたい」と 思う人の割合 (%)	61 (H30)	— —	65 (R6)	—	・「幸田町住民意識調査」の数値を引用しているが、各年実施であり令和3年度は実施年度ではない。	
③目標：子どもを育て、みんなを元気にする		年少人口 (人)	7,079 (R1)	7,170 7,009	7,420	△	・年少人口は、基準値から 70 人減少しており、目標値も未達成となっている。
施策	3-1-① 第3子が安心して産める子育て支援	利用者支援事業の母子健康手帳の 交付件数 (件)	410 (R1)	415 347	430	△	・交付件数は、基準値から 63 件減少しており、目標値も未達成となっている。
		ファミリーサポートセンター援助会員数 (人)	87 (R1)	90 100	95	◎	・会員数は、基準値から 13 人増えており、令和7年度の目標値を既に達成している。
		保育所等の3歳未満児の受入人数 (人)	237 (R1)	260 221	280	△	・受入人数は、基準値から 16 人減少しており、目標値も未達成となっている。
	3-1-② 教育環境の育成・支援	スポーツ施設利用者数（小中学校体育館、勤労者体育センター、町民プール） (人)	350,000 (H30)	356,000 252,842	360,000	△	・利用者数は、令和元年度から約 97,000 人減少しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。
		キッズサポーター養成講座受講者数 (人)	66 (R1)	110 149	200	◎	・受講者数は、基準値から 83 人増加しており、令和7年度の目標値に向け順調に推移している。
	3-1-③ 医療環境の支援	各種健診受診者数（妊婦健診、乳児健診、産婦健診、妊婦歯科健診、産婦歯科健診） (人)	6,149 (R1)	6,230 5,343	6,400	△	・受診者数は、基準値から 806 人減少しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。

【評価】◎：R3 目標値を達成している、○：R7 目標値に向けて概ね順調に推移している、△：基準値を下回る、—：実績値がなく評価できない

目標／施策		KPI	基準値	R3 上：目標値 下：実績値	R7 目標値	令和3年度の評価
④目標：つながる人と地域を育てる		刑法犯罪の発生件数 (件)	209 (R1)	200 155	190	◎ ・発生件数は、基準値から54件減少し、令和7年度の目標値を既に達成している。に向け順調に推移している。
施策	4-1-① コミュニティの活動支援	こんにちは赤ちゃん家庭訪問実施率 (%)	94 (R1)	96 94	100	△ ・実施率は、基準値と同等の数値となっており、令和3年度の目標値には至っていない。
		健康づくりボランティア数 (人)	73 (R1)	75 65	80	△ ・ボランティア数は、基準値から8人減少しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。
	4-1-② 高齢者・障がい者福祉の育成・支援	見守りネットワーク事業協力者数 (人)	17 (R1)	18 18	20	◎ ・協力者数は、基準値から1名増加しており、令和7年度の目標値を既に達成している。
	4-2-① 自然環境の保全・活用	環境に関する講座等開催回数 (回/年)	10 (R1)	10 8	10	△ ・開催回数は、基準値から2回減少しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。
		処理しなければならない1人あたりのごみ排出量 (g/日)	539 (R1)	530 557	510	△ ・1人あたりのごみ排出量は、基準値から18g/日増加しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。
	4-3-① 歴史・文化の保存・継承	町指定文化財の件数 (件)	35 (R1)	35 39	40	◎ ・R4.2.3 付けで「木彫彩色当麻曼荼羅」のが町指定文化財となった。
	4-4-① 防災・防犯・交通安全の強化	通学路交通安全プログラム対策実施件数 (件)	26 (R1)	26 22 相談数：52 実施率：42%	30	△ ・実施件数は、基準値から4件減少しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。
		防災啓発・普及活動実施件数 (件)	40 (R1)	45 63	50	◎ ・実施件数は、基準値から23件増加しており、令和7年度の目標値を既に達成している。 ※増加した要因として、R2はコロナ禍で地区の防災訓練の実施区が12区であった。R3は感染症対策実施で、21区と増加した。

【評価】◎：R3 目標値を達成している、○：R7 目標値に向けて概ね順調に推移している、△：基準値を下回る、－：実績値がなく評価できない

目標／施策		KPI	基準値	R3 上：目標値 下：実績値	R7 目標値	令和3年度の評価	
施策	4-5-① なめらかなまちづくり	多世代交流施設の利用者数 (人)	34,827 (R1)	37,000 23,141	41,000	△	・利用者数は、基準値から約12,000人減少しており、令和3年度の目標値も未達成となっている。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス感染症対策として利用時間制限を実施したことが考えられる。
⑤横断的な目標1： 多様な人材の活躍を推進する		アンケート「多文化共生の推進」施策について、「やや満足＋満足」の回答割合 (%)	10.3 (H30)	－ －	15 (R6)	－	・「幸田町住民意識調査」の数値を引用しているが、各年実施であり令和3年度は実施年度ではない。
⑥横断的な目標2： 新しい時代の流れを力にする		IoT推進の取組回数 (回/年)	14 (R1)	16 14	20	○	・IoT推進の取組回数は、基準値と同等の数値となっているが、令和3年度の目標値は未達成となっている。

■令和3年度のKPI実績値の評価

令和3年度のKPI実績値は、「◎：R3目標値を達成している」と「○：R7目標値に向け概ね順調に推移している」が合計10個（33.3%）である一方、「△：基準値を下回るもの」は15個（50.0%）ある。また、調査の実施年度ではない項目や数値が現時点で未公表の項目があり、評価ができていないものが5個ある。

コロナ禍の影響を特に強く受けた令和2年度と比べて数値が回復し、基準値を下回るKPIがやや減少している。今後も継続して事業を推進する必要がある。

項目	個数・割合	
	R2	R3
◎：R3目標値を達成 (R2はR3目標値を既に達成)	9 (30.0%)	7 (23.3%)
○：R7目標値に向け順調に推移 (R2はR3目標値に向け順調に推移)	3 (10.0%)	3 (10.0%)
△：基準値を下回る	17 (56.7%)	15 (50.0%)
－：実績値がなく評価できない	1 (3.3%)	5 (16.7%)
合計	30 (100.0%)	30 (100.0%)

【評価】◎：R3目標値を達成している、○：R7目標値に向けて概ね順調に推移している、△：基準値を下回る、－：実績値がなく評価できない